

## 当初市負担額から1億6,425万4,904円減額の変更協定を締結しました JR 常磐線佐貫駅駅名改称事業に関する市負担額が確定(6/17)

JR 常磐線佐貫駅(令和2年3月14日「龍ヶ崎市駅」に改名)駅名改称事業に関する事業費の精算作業が完了し、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社から龍ヶ崎市に対して市負担額の報告がありましたので、公表します。(詳細は以下のとおり)

また、令和2年6月17日付けで、事業費確定に伴う変更協定書を東日本旅客鉄道株式会社水戸支社と本市の間で締結しましたので、お知らせします。

なお、この報告を受けた龍ヶ崎市長 中山一生のコメントは以下の通りとなります。

### 【龍ヶ崎市長コメント】

令和2年3月14日に誕生したJR龍ヶ崎市駅。

このたびJR東日本水戸支社から、負担金額確定の連絡をいただきました。所期の想定よりはるかに大幅な減額となった改称費用も含め、この取り組みにご理解をいただき、全面的にご協力をいただいたJR東日本水戸支社の皆様をはじめ、関係者の皆様に感謝を申し上げます。

新駅名誕生が、この取組の本当のスタートでもあります。龍ヶ崎市民みんなが自分たちの駅として愛着を持ちながら、この取組から価値を生み出し、さらに大きく育てていけるよう、市民の皆さんとともに力を合わせてまいります。

改めて、大きなお力をいただいた全ての皆さんに、心から感謝申し上げます。

### 【 JR 常磐線佐貫駅駅名改称事業に関する市負担額の概要】

当初概算負担額	最終確定負担額	当初負担額からの減額
3億8,894万6,000円	2億2,469万1,096円	▲1億6,425万4,904円

#### ■ 減額要因

駅名改称事業が、当初から予定していた「高輪ゲートウェイ駅」の開業に加え、常磐線のダイヤ改正と同じタイミングで実施できたことや常磐線の全線運転再開などの JR 施策と同時に作業を進められたことによる「割り勘効果」が働き、駅名改称事業に対する工事費が減少したことから、本市の負担額が大きく減額となりました。

#### ■ 駅名改称事業の財源

事業の財源は、全額、ふるさと納税を原資とする「龍ヶ崎市みらい育成基金」を充当します。

なお、ふるさと納税うち、歳出用途を「常磐線佐貫駅駅名改称事業に関すること」と指定された全て及び「市長へお任せ」と指定されたうち一部を充てることとなります。

※龍ヶ崎市みらい育成基金とは…ふるさと納税の寄附金を積立てた基金です。「未来を担う子どもたちのための事業」「健康で安心な環境を育てるための事業」などに使われます。

担当課	龍ヶ崎市 市長公室 企画課 地域戦略グループ 担当者:岡野・小室(おかの・こむろ) 連絡先:0297-60-1516(直通)
-----	--